東京東村山ロータリークラブ　国際ロータリー第2580地区

週報

国際ロータリー・テーマ
地域を育み、大地をつなぐ
地域を育み、大陸をつなぐ

Vol.44　ガバナー公式訪問／第2143回例会　2010.10.28

今年度会長テーマ　温故知新　そして　和

ガバナー公式訪問

■クラブ協議会

■司会：中丸幹事

■挨拶：山本会長

皆様おはようございます。まずは雨でお足元の悪い中を、国際ロータリー第2580地区ガバナー上野操(うえのみさお)様、国際ロータリー2580地区幹事　池田亮(いけだりょう)様、国際ロータリー2580地区副幹事　荒井智久(あらいともひさ)様、国際ロータリー第2580地区多摩分区ガバナー補佐　安部正男(あべまさお)様、国際ロータリー第2580地区多摩分区幹事　髙木裕(たかぎゆたか)様、昨日のＩＭに引き続きガバナー公式訪問、皆様お疲れの中を遠方の我が東村山ロータリークラブまでお越し頂きまして誠にありがとうございます。心より感謝致します。
さて本年度の我がクラブは内部の「和」「団結」を基本とし、例会出席率の向上と充実、そして親睦と職業奉仕を再度基本に戻り見直しを行い来る来年の45周年に向けてクラブ内部の充実を図りたいと考えて活動しております。詳細につきましては、各委員長が熱い思いで発表してくれますので上野ガバナーにおかれましては、是非、良きアドバイスと助言をお願いできれば幸いでございます。宜しくお願い申し上げます。
会長があまり長く話しますと、メンバー諸兄の貴重な発言時間が無くなってしまいますので、はなはな簡単ではございますが、以上を持ちまして会長の歓迎の挨拶とさせて頂きます。

■ご紹介並びにご挨拶

国際ロータリー
第2580地区ガバナー
上野操様

国際ロータリー
第2580地区幹事
池田亮様

国際ロータリー
第2580地区副幹事
荒井智久様

国際ロータリー
第2580地区多摩分区
ガバナー補佐
安部正男様

国際ロータリー
第2580地区多摩分区
分区幹事
髙木裕様

■小町クラブ奉仕委員長

本日は上野地区ガバナー、池田地区幹事、荒井地区副幹事、安部ガバナー補佐、髙木分区幹事にはご多用の中、東村山の地においで頂きありがとうございます。本年度クラブ奉仕委員長を仰せつかりました小町幸生と申します。
東村山市は「人と人、人とみどりが響きあい、笑顔あふれる東村山」を将来都市像として掲げ現在人口15万3千人、世帯数6万9千でその内外国人登録は2285人で1.5%です。60カ国におよび中でも韓国、朝鮮が30%、中国が35%、フィリピン12%です。
また、八国山、狭山緑地と今話題の全生園、小平霊園などの緑地と多摩湖、空堀川等の河川など自然資源に恵まれ水と緑の豊かな街です。ただ、街の変遷に伴って里山の風景は消えつつあります。寂しい感です。この例会場も樹木豊かな歴史ある八坂神社の社務所を例会場とさせて頂いています。本日の昼食は当地名物の手打ちうどんです。どうぞご賞味ください。
さて、四大奉仕の第一部門であります我がクラブ奉仕は5委員会で構成されています。クラブ奉仕は樹の根に例えられます。ロータリーが他の団体と違うのは「一業種一会員制」「定期的な会合」「出席の強制」が義務付けられているところにあります。特に例会の出席は義務でもあり権利でもあります。お互いのロータリアンが自己研鑽を遂げるために必要とされています。
山本会長は本年度クラブテーマを「温故知新 そして 和」古きをたずね新しくを知ればもって師となるべし、をスローガンに8つの重点項目を掲げ例会毎に唱和しています。先日、プロ野球千葉ロッテマリーンズの西村監督がクライマックスシリーズで「みんなの和」の結集が優勝になったとの言葉に感動しました。会長目標の中でも例会に出席し楽しもう、話し合おう。そして安部ガバナー補佐の掲げたキャッチアップto90の実現に力を入れています。
日本全国、クラブの会員数の減少は現れています。我がクラブも30年度は56名、35年度は47名、40年度は44名、そして本年度現在35名です。時代の流れとはいえロータリー精神を持って活動し日々の生活謳歌していくためにも数は必要です。
先輩の言葉にロータリーは目的の見えない手段、事業を繰り返し結果の出ない目的に向って、それはゴールの見えないマラソンのようで少年のような純粋な心で夢を求め追い続け、ひたすら「奉仕の理想」を追求する。これがロータリーの魅力なのではと言っています。
我がクラブも次年度45周年を迎えようとしています。これからのロータリー組織を守り継承していくためのロータリアンとして心構えを御示唆頂ければ幸いです。

■戸澤例会運営委員長

例会運営委員長の戸澤です。副委員長に田中会員、高橋会員、五十嵐会員、熊木会員、中條会員、村越会員、樋口会員で運営しています。当クラブの例会運営委員は従来のＳＡＡと出席委員会が一緒になっております。毎回の例会運営では会長幹事やクラブ奉仕、プログラム委員会、クラブ管理と連携して運営するように心がけています。
私が入会したのは平成5年で当クラブの会員は60名以上いました。入会してすぐＳＡＡ委員会に配属になりました。当時からＳＡＡに入ると、会員の名前を覚えられ早くクラブに慣れるということでした。その為かメンバーは比較的に入会の浅い方が多かったような気がします。
ＳＡＡは他の皆さんより早く来て会社ではあまりやらない会場設営の準備や後片付けをしています。毎週早く来るのは現役の仕事をしている場合はつらいものがありました。先輩にＳＡＡは会場監督で権限があるとか早くロータリーの事が分かるからとおだてられて入会から3年間続けてＳＡＡ委員会でした。4年目は事前にクラブ奉仕委員長にお願いして他の委員会に変えて頂きました。今は他の委員会の方も手伝って頂くので早く例会準備が出来て、後片付けも早く終わるので助かっています。
私が入会した頃は当クラブでは幹事が司会をしていました。2003年野澤会長、町田幹事の時からＳＡＡが司会するようになりまして現在に至っています。その時のＳＡＡの委員長は目時会員でした。今、例会運営のメンバーは毎週交代で司会をする事にしております。例会運営のメンバーが交代で司会するようになってから、毎週の例会が全員参加になり、マンネリがなくなり非常に良くなったと思います。規律ある例会運営を目指して、卓話中の私語をなくすような例会の司会を心がけております。
安部ガバナー補佐の今年度多摩分区のテーマ、キャッチアップ90として出席率の向上を目指しております。その一環として当クラブでは11月18日は例会出席100%を目指すよう全会員に呼びかけております。どうしても当日欠席する場合はメーキャップをするようにお願いしております。メーキャップですが、先日仕事の関係でアメリカ・シアトルへ3泊5日で行って来ました。その時、帰りに少し時間があったので例会には間に合わなかったのですが、シアトルワシントンクラブの例会場がホテルの近くで、3日間同行して頂いたシッパーさんの奥さんがロータリアンだったので事務局に連れて行ってもらいバナー交換をしてきました。私は過去に何回か海外へ行ったとき、例会には時間が決まっており、なかなか出られないので、例会に出ないで事務局に行ってバナー交換をしてくる事が多いです。それでメーキャップにして頂いております。
現在当クラブの食事は木下会員の経営する東村山給食さんにお願いしております。その木下会員の発案で例会を欠席する場合は必ず事務局に連絡をするようにしていただいて食事の無駄をなくすようにお願いしており、さらにメーキャップをお願いしております。

■金子プログラム副委員長

※前号に掲載済みです。

■當麻職業奉仕委員長

職業奉仕とは何ですか？
よく聞かれる言葉ですね。簡単に言えばあなたの職業を通じて他人を助けることです、と私は答えています。職業奉仕とは職業分類に基づいた会員制度というロータリーの原点とも言える原則に基づいたものと言えます。職業の代表者として自らの事業活動をロータリアンでない人に分け与えることが義務付けられています。ロータリーに入ったからには最も高い倫理基準を掲げ、様々な取引きにおいて、その倫理基準を守るように心掛けなければならないと思います。このことが4つのテストであります。
日本人の商売の考え方で言えば三方良し。「売り手」よし、「買い手」よし、「世間」よしだと思います。

職業奉仕の考え方
職業奉仕というロータリー用語は、アーサー・フレデリック・シェルドンが提唱した独特の概念なのです。職業vocationと奉仕serviceとを結び合せた一般的な熟語として考えると、職業と奉仕の夫々の単語の持つ意味巡って、解釈や誤解が生じて職業奉仕の概念を難しいものにしています。職業奉仕を正しく理解しようとすれば、この言葉はシェルドンの奉仕理念に基づいてロータリーが作った独特の概念だと言うことを理解しなければならないと思います。
そして奉仕の精神の必要性を地域全体の職業人に伝えていかなければならないと言う考え方で事業活動を営むことが職業奉仕であるとシェルドンは説いたのです。
又シェルドンが考えているサービス学について述べているのが、He profits most who serve best.というロータリーの奉仕哲学は、自然の法則であり宇宙の摂理にかなった法則である、これがロータリーの職業奉仕理念である。
ロータリーの奉仕哲学は継続的に利益を得るための人間関係の基本的原則であると結論付けています。そして決議23-34はロータリーの綱領に基づく全ての実践活動に対する指針であると同時に、ロータリーの二つの奉仕理念をロータリー哲学として確定したドキュメントで、「この奉仕の理想の適用を実行することについては･･･」という一節に引き続いて、ロータリーは、基本的には一つの人生哲学であり、それは利己的な欲求と義務および、これに伴う他人のために奉仕したいと言う感情の間に常に存在する矛盾を和らげようとするものである。
この哲学はService above selfという奉仕哲学であり、He profits most who serve best.と言う実践理論の原則に基づくものであると、結論付けています。

■野崎社会奉仕委員長

※前号に掲載済みです。

■町田国際奉仕委員長

ロータリーの第4奉仕部門でもあります国際奉仕部門は、ロータリアンが国際理解、親善、世界平和を推進する為に実施できること、全てからなります。その方法は世界各国の人々、その国の文化、習慣、業績、問題等を知る事、いわゆる国際理解であり、また旅行や国際大会出席による個人交流である親善であります。そしてさらには他国の人々の役に立つクラブの活動やプロジェクトに協力する事であるとされております。
国際奉仕部門にはロータリー財団(皆さん良くご存知であります、人道的プログラムの原点、3-H Health(健康)、Hunger(飢餓追放)、Humanity(人間性の尊重))があります。この中にはポリオプラスプログラムもあります。世界社会奉仕委員会(ＷＣＳ)、ロータリー米山記念奨学委員会、青少年交換委員会、オン　ツー　ニューオリンズ委員会等があります。
本年度の国際年次大会はニューオリンズで例年より1ヶ月早い5月21日から開かれますので、当クラブでは創立以来殆ど誰かしら参加しておりますし、多摩分区中では国際年次大会への参加回数は一番多いクラブであると自負しておる所で御座います。今年度も野村クラブ管理委員長と協力し合い、20名の参加を目標に会員、ご家族に対しまして参加してくださるよう促して行きたいと考えております。
今年度の国際奉仕部門、青少年交換委員会は飯田委員長であります。8月より来日した12名の中で一番可愛い親善大使としてヨーロッパのハンガリーから女子交換留学生を受け入れております。過去においては受入れ校は武蔵野市にある武蔵野女子高校にお願いしておりましたが、今回は通学時間やクラブのテリトリー、地域性を考慮いたしまして10数年振りに東村山市内の日本体育大学付属の桜華女学院高校に受け入れをお願い致しました。現在は第1ホストファミリー中丸繁男幹事のご家族の皆様の素晴らしい気配りを受けまして、彼女は大変元気に通学をしております。只、毎回ホストファミリーを引受けて下さる方には難儀いたしておりますが今回は第2ホストファミリーは赤木会員がすすんで引受けて頂ける事が決まっております。
ロータリー財団委員会は委員長に目時会員、副委員長にはクラブで一番資金集めの大変上手な高橋徹会員が担当していますので今年度の寄付目標は十分クリアー出来ると確信しておる処で御座います。何と言っても銀行支店長様でありますから。なお、当クラブはポール・ハリス・フェローを創立以来144名、年平均2.6人の割合で排出しております。
米山奨学委員会委員長は嶋田会員で御座います。クラブとしては普通寄付金は一会員あたり4000円寄付を行っておりますが、特別寄付金、個人寄付として本年度も創立以来71人目の米山功労者が出ることだと思っております。
ポリオプラス、ポリオ撲滅基金に対しましてはクラブと致しまして、前年どおり協力したいと思いますが、小生個人のことでありますが、ビル・ゲイツ財団とは月とすっぽんにも及びません。ですが、野菜販売の中から、貧者の一灯として19222円を先日送金させていただきました。
バギオ基金につきましては我がクラブから地区委員に

野村会員が出ておりますので出来る限りの協力をしたいと思っております。
ガバナーに質問します。財団法人ロータリー米山記念奨学会の事業は大変意義のある事業と認識しておる処でありますが、奨学金を受けている学生はシナの学生が大変多いのは、行政発表で日本にいる留学生の比率でわかりますが米山奨学金を年間168万円も受けて、日本で学び研究してその結果、アメリカ等で博士号を取得している現状が多くあると聞きます。これが事実なら「誰がために　カネが出る　お国の為か？　シナに対してのアピールか？」思わず思ってしまう所でありますが、このことに対しましてガバナーのコメントを頂けたら大変有り難く思う処でございます。

■講評：上野操ガバナー

1.小町・戸澤・金子会員の発表後に最初の講評がありました。

素晴らしい発表有難うございました。まずクラブ奉仕部門についての一般論をお話しします。何と言っても例会が中心である。例会は4大奉仕部門の基礎でもあり、ガバナー月信を良くご覧ください。1905年に一業種一会員制という職業分類ともう一つが、規則的例会への出席義務の決議この二つが基本にあります。可能な限りこの原則は守るべきだと考えます。定款には50人以上のクラブは一業種5人、それ以上の会員がいる時は、その10％まで緩和されています。この意味は、そこまでしても良いと言う事であって、そうしなければいけないという事ではない。一業種一会員制が良いと思う。ポールハリスがクラブを創った時の理由が、寂しかったからと即座に答えている。その理由は、当時アメリカの自由経済は、劇的に発展しすごい勢いで伸びていました。そのため商道徳が非常に低下し、拝金主義がはびこった。人心が荒廃している状況を見ていて、寂しいと感じた訳です。これで良いのだろうかという、憂いと言うか心配があったと思います。いくら物質的になっても、人間関係が崩れていたのでは本当の幸せは来ない。そこからロータリーは出発していると言うことをもう一度我々は認識する必要がある。相手の立場に立ってものの考えと行動をしようという奉仕の心が芽生えて来たのでしょう。職業生活に於いて人心を荒廃させてしまったのだからそこに入り込んで人心を改良すべき。必然的に職業を通して奉仕しよう。と言う事に繋がる。ロータリーを宝として思っていることは、地域社会の中で色々な核になる立派な異業種の人達が集うクラブは他にない。もう一つは、ジェネレーションの違いが旨く作用している事です。良い意味で縦の繋がりがある。こういう立体的なクラブは他に無い。会員がそれぞれを披露する、つまり卓話を続けることによって、意識が高まり、例会に出席したくなる。特にキャリアのある方はご自分の成功例・失敗例を話し働きかけるべきです。

2.當麻よりご示唆いただきたい旨の申し出。野崎・そして町田会員より質問があり再度講評がありました。

非常に楽しく聞いていました。10年以上前から、最近は職業奉仕が形骸化して、ライオンズ化していませんか?と言う事が言われています。私もそういう傾向にあると感じています。解決するには、ロータリーとライオンズの違いをわかりやすく説明しています．ライオンズクラブは、ロータリー結成後12年経って創られています。創始者はメルビン・ジョーンズという元ロータリアンです。ライオンズクラブは、I　serveではなく、We　serveである。それは慈善的な奉仕でもあるとしている。
自由競争に勝って、儲けた人は税金を払って、成功者として存在する。競争社会に恵まれないハンディーキャップを負った人々に対して、納税後に浄財を集めて寄付しようという発送を持った団体である。1人よりも多くの集まった方が金額も大きくなり効果的である。よって、必然的にWe　serveとなる。我々ロータリアンはあくまでもI　serveである。例えとして、旅館に泊まり、マッサージさんをとって話をしたとき、彼が言うには毎年新しい杖を貰っていますが、1～2本あれば十分です。それに比べ信号待ちをしているときに、そっと腕を取ってくれ、「さあ行きましょう」と言って渡りきった所で「お気をつけて」と言ってそっと去っていく人が一番嬉しい。社会奉仕の主たるものは、ハートと行為であると思う。国際奉仕については、1947年に国際親善奨学生を育てようと言う事から始まった。それは、親善大使となるような人間を育てようと言うこと。人間関係を通して、平和の大使にしようという発想。貧しい学生の経済支援ではない。米山財団も同じである。最初はポケットマネーで始めた事が今に至っている。当初はＲＩから認められなかったが今は違う。元々アジアの中で志を持った人間を育てようとした。幕末の坂本龍馬・高杉晋作・伊藤博文達のような人材を育てようとした。そうしないとアジアは、西洋に追いつかないと考えたのだろうと私は信じています。20年前に米山委員長を仰せつかったとき、奨学金を受ける学生の割合は、台湾7割・韓国・中国の順番でした。現在は米山さんの理念に反しているかもしれません。もっと貧しい国から選ぶべきと考えます。選考段階では、偏差値的視点によって合格させている。知識・日本語の習熟度からするとどうしてもその3カ国になる。最初に貧しい国の学生を選抜して、残りの部分を現在の方式にしてはどうか提案している。米山奨学金制度は、民間最大で返済義務無し。またカウンセラー方式は他に類を見ない制度である。

■謝辞：山本会長

分かり易いお話をして頂き大変参考になりました。入会年数の若い方には非常に有意義なお話だったと思います。これからも例会を充実させていきたいと思いますので皆さん宜敷お願いします。簡単ではございますがこれで謝辞とさせて頂きます。

第2099回例会

■司会：
戸澤例会運営委員長

■点鐘：山本会長

■合唱：ロータリーソング
「それでこそロータリー」

◆ソングリーダー：
野澤会員

■お客様紹介：
目時パスト会長

◆国際ロータリー
第2580地区ガバナー
上野操様

◆国際ロータリー
第2580地区幹事
池田亮様

◆国際ロータリー
第2580地区副幹事
荒井智久様

◆国際ロータリー
第2580地区多摩分区
ガバナー補佐
安部正男様

◆国際ロータリー
第2580地区多摩分区
分区幹事
髙木裕様

■会長報告　山本会長

「温故知新 そして 和」古き を たずね 新しきをしれば もって師となるべし。
①例会に出席し、メンバー間の懇親を深め、自分自身に有意義な例会を見つけよう。
そして自分自身の例会出席の楽しみを見つけよう。
②例会を欠席したらメークアップを必ずしよう。
③入会時のスポンサーは新人メンバーのメークアップの面倒を必ず見よう。
④食事の廃棄を少なくする為に例会を欠席する時には、前々日までに事務局に連絡を入れよう。
⑤夜間例会、懇親会、旅行に奮って参加しメンバーの懇親を深めよう。
⑥クラブメンバーの全員卓話を盛り上げよう。
⑦マイ箸を失くさないように使おう。
⑧交換留学生をしっかりと育てよう。
⑨阿部ガバナー補佐の掲げた、キャッチアップ90(出席率90％以上)を実現しよう。
是非11月90％を達成しましょう。勿論100％が達成出来れば素晴らしい事ですが。先週お休みされたメンバーの方は、是非メークアップをお願い致します。
次に会務報告に移らせて頂きます。

■幹事報告　中丸幹事

■東村山消防署：
火災予防業務表彰式の開催について
2010年11月5日(金)　13:20～
於　東村山市民センター2F

■東村山市国体準備室：
第68回国民体育大会東村山市準備委員会第2回総会
スポーツ祭東京2013東村山市実行委員会第1回総会

■東京小石川ＲＣ：
創立40周年事業「文京芸術祭」の案内について
2010年12月5日（日）
於　文京シビックホール
コンサート：航空自衛隊、尚美学園大学生による演奏
申込み〆切　11月22日（日）→事務局まで連絡

■ガバナー事務所：
・2011～12年度ロータリー財団グローバル補助金奨学生並びに新地区補助金奨学生候補者の募集開始について
受付開始：2010年11月1日から
クラブ〆切：2011年2月25日（金）必着

資料①未来の夢計画パイロット地区一覧
②未来の夢計画パイロット地区グローバル補助金奨学生派遣可能先教育機関の例
③グローバル補助金申請書
④新地区補助金申請書
⑤グローバル補助金参加申込書（和文）
⑥新地区補助金参加申込書（和文）
⑦補助金授与と受諾の条件改訂版
⑧クラブの覚書
⑨グローバル補助金学生募集要項
⑩新地区補助金学生募集要項

・（9/27）クラブ奉仕委員長・プログラム委員長会議議事録の受理

■回覧：心の東京革命

■出席報告　田中例会運営委員

在籍会員数	出　席	免　除	欠　席	出席率
35	27	0	7	79.41

■前々回メークアップ修正後前々会欠席：4名
■前々回出席率メークアップ修正後：88.57%
■前々会メークアップ者：
石山会員：東大和ＲＣ
二ノ宮会員：所沢中央ＲＣ
嶋田会員：所沢中央ＲＣ

■ニコニコＢＯＸ　高橋（徹）クラブ管理委員

◆山本会長、中丸幹事：
上野ガバナー、池田地区幹事、荒井地区副幹事、安部ガバナー補佐、高木分区幹事、本日はありがとうございました。名物の東村山うどんはいかがでしょうか。また上野ガバナーの卓話を楽しみにしております。
◆野澤会員：上野ガバナー東村山へようこそ。青少年交換では大変お世話になりました。この事業に対しては最大の理解者です。今後ともおろしくお願い致します。
◆野崎会員：上野ガバナー始め地区役員の皆様御苦労様です。池田幹事には徳増年度に私が青少年交換委員長当時大変お世話になり有難うございました。
◆田中会員：上野ガバナー様、ようこそ東村山においでいただきました。先日のＩＭの発表の席ではお世話になり有難うございました。
◆目時会員：上野ガバナー、公式訪問でご指導ありがとうございます。
◆戸澤会員：2580地区上野ガバナー他皆様ようこそおいでいただきました。
◆小町会員：上野地区ガバナー、安部ガバナー補佐をはじめ役員の皆様本日はよろしくお願いします。

本日のニコニコ合計：　31,000円
累　　計　：　509,000円

■委員長報告

■野村クラブ管理委員長

毎年恒例のクリスマス例会のご案内を致します。出欠表が手元にありまして、ほとんどの方がもうサインしてありますが再度内容をご説明いたします。12月18日（土）午後6時から8時まで立川パレスホテル2階中華にて着席ブッフェスタイル。
福生ロータリー会員の紹介でプロの歌手によるプチ・ディナーショーとなります。その他にビンゴゲームも用意しています。ご家族を誘って楽しいパーティーにしたいと思いますので宜敷お願いいたします。

■卓話

■卓話者：
上野操地区ガバナー

目時さんのご質問ですが、東京ロータリークラブは330名位ですが地区大会への登録は非常に少ないです。水野さんが私の後のガバナーとなりますが、過日90周年記念祝賀会に私たち呼ばれて行ってきました。その際多分あなたのガバナー年度には沢山登録するでしょうねと申し上げました。自分の年度だけでなく、私の年度もお願いしますよと言ったら笑っていました。東京ロータリークラブはちょっと特殊なクラブです。集まっている人達も違う人達が多いことと、もう一つ東京ロータリーが最初のクラブですから、その他のクラブを伝統的に子クラブとして呼んでいる。他の大きな都市のクラブの親クラブとしての意識がある。ただシンプルで奢らないで非常にすっきりしている面もある。600名程集まったある席で、私は当地区のガバナーとして、ＲＩ会長ノミニーの田中作治さん、ワシントン市の姉妹クラブご夫妻の3人だけ、3分間のスピーチを依頼されました。その席にはＲＩのメンバーだった方や偉い方が、沢山出席していましたが、紹介もせずに次のプログラムへ入ってしまい、中村紘子さんのピアノ演奏が始まってしまいました。そして懇親会場の席には、メンバーが、お客様を囲むように配置されていて、楽しい会話をして盛り上げていました。これはこれで良いと感じて帰ってきました。

それでは、本題に入らせて頂きます。今年1月の国際協議会に出席した際に、スミス会長が自分のテーマを説明したと同時に、我々に2つの事を考えて欲しいと言われました。1つには、ご自分の地区のロータリアンから「ロータリーとは何なのか？」「ロータリーの原則とは何なのか？」という質問があるだろうから、自分なりのロータリー感を的確に答えられるようにし、各ロータリアンにその心構えを持って貰うようにとの事でした。昔、自分のクラブの先輩に色々質問したが、「そのうち解るよ」で済まされた思いがある。そういう事ではいけないという事です。もう1つは、ロータリアン以外の人から「ロータリーとは何ですか？」と質問されたら、簡潔に答えなさいとの事です。このような宿題を課されて来ました。今日は皆さんに「ロータリーとは何ですか？」と聞かれた場合のお話をこれから申し上げます。ポール・ハリスは「ディス　ロータリアン　エイジ」という本を残しています。「ロータリーは宗教ではない」また「宗教に換わる何物でもでもない」それは、古くから存在する道徳観念と、その現代生活の中に就中、実業的職業生活に適用実践させることである。と明確に著している。この定義には３つの論点がる。

1.何故ポール・ハリスは、宗教と道徳を分けたのか？
（宗教と道徳の違いを考える必要有）

2.古くからある道徳観念を現代我々ロータリアンとして、どのような易しい言葉で理解するか？

3.現代資本主義社会の中で何故我々ロータリアンは優先的にまず職業奉仕をしなくてはいけないのか？

人間は本質的に社会的な存在である。社会の中でなくては生きていけないのだから。一方我々は、社会と自己・利と他をいつも区別しながら生きていく。そして、自己保存本能という非常に強いものを持って、生きている個人的な存在。社会的な存在であると同時に、個人的な存在でもある。一見非常に矛盾した存在である。心の中には自分達の利益を実現しようという欲望（自利の心）、社会に貢献したいという義務感（利他の心）という2つの一見矛盾する心を自分達の中に同居させている。このことは過去から今日まで共通してある。社会から見ると、社会自身がその存在を維持したい、あるいは向上発展させたい、というある力が生まれてくる。それを我々は社会規範という。我々が団体行動・社会行動をするときに意識する、しない、とに関わらず、何となくそれに拘束される事それを社会規範と言う。その社会規範は色々あるが、典型的なのが法・道徳・宗教。この3つは易しく言うと共通点があり、なるべく私利の心を抑えて、利他の心に生きなさいと言うのが社会規範の要求しているところです。では、宗教と道徳の違いは何かというと、究極では地位とか自我を否定する世界である。最終的には、利他だけに生きなさいという自我を否定する世界です。キリスト教などに言われる殉教です。仏教では布施と言う事。究極は命の布施である。法隆寺にある玉虫の厨子の裏側に描かれているのは、前世のお釈迦様の姿と言われている。「捨身餌虎」（飢えた母虎が子供の虎に与える乳が出ない。それを悟った釈迦は自分の衣服を脱ぎ捨てて崖から身を投じ、母虎の餌となる。）これは命を捨てるという最高の布施である。では道徳とは何かというと、自利とか自我とか我執とかを究極的には肯定する世界。しかしできるだけ利他にしなさいと言うのが道徳の世界。従って道徳的世界には幅がある。その中で最低限の線が法律である。法は最低限の倫理であり、それ以下に成ることは、人間世界でなく、獣の世界となる。従って、最低限の倫理を踏み外すと強制的に処罰をすることになる。人を殺して捕まり死刑となった場合は、殉教で自ら命を絶つのではなく、イヤダ、イヤダと言いながらも抹殺される事件と言うこと。要するにロータリーの倫理運動というのは、草の根運動、みんなでやろう、世の為人の為にしようと言うことですから宗教的次元はあり得ない。そこで道徳的次元と言う事になる。ポール・ハリスは非常に頭の柔らかい人だと思う。ロータリー創設時は、周囲に牧師さん、学者等立派な方々か居て非常に宗教的次元な言葉を易しくした。コリンズという人のService　not　selfは自我滅却の境地。1915年有名な道徳律ができました。その中には「我々は黄金律という言語を標榜する」又は「人を転ばさんとするよりも、人に転ばされない事を選ぶ」と言うものがあったが、あまりにも宗教的だったのでだんだん引用されなくなった。もう1つの理由でポール・ハリスは人間の歴史を良く観ていたと思う。十字軍の遠征がありますが、11世紀から200年の間にあったことです。宗教というものは、組織化されていくと徐々に権力化してきて、時の大きな権力と癒着してしまう。200年近く殺戮と略奪を続けていた訳です。これは、最低限の倫理以下の事をしていた訳です。イエスズ会についてですが、西洋の先進国が植民地等の帝国主義をしていたころ、日本にも来ました。あの十字架と聖書を持って牧師さんが来た訳です。その背後には、大砲とか鉄砲・アヘンが入って支配したということもあります。ですから、宗教というのは非常に怖いと思います。そこでポール・ハリスはロー

タリーは宗教ではないと言ったと思います。次の問題として、古くからある道徳観念、道徳的倫理の中身は何かというと、突き詰めていくと世界的な宗教の教義と一致すると言っている。その本質は宗教的教義と一致する､だけど自我を宗教的に肯定するかしないかになる。宗教的教義とは何か？というと黄金律が出てくる。相手方からまず自分にして貰いたい事を自分から行動せよと言う事が黄金律です。お釈迦様の言葉でも｢己が欲っせん事をまず他人に施せ｣と言っている。宗教的教義の本質は、皆一致しています。だからそれが道徳観念であり、それを易しく日本語で言うと｢相手方の立場に立って、物を考え相手方が喜ぶような、相手方に役立つような行為をしなさい。｣これが普遍的な道徳的倫理となると私は思っています。ロータリーの中でServiceという一般概念を発見したのは、シェルドンです。要するにロータリー的表現で言うServiceが普遍的道徳観念です。Service　About　selfと言う言葉かありますが、まさに普遍的道徳観念そのものです。それでは、現代資本主義社会の中で何故我々ロータリアンは優先的にまず職業奉仕をしなくてはいけないのか？ということですが、これも結局激しい自由経済競争と言う物が、商業主義化、拝金主義化させ商業道徳を低下させ、職業倫理を低下させ、そして人間関係を破壊しつつある訳です。ポール・ハリスその辺を憂い・寂しく思ったのではないか。柔軟性、先見性のある、ある意味では東洋的な世界観が解る人ではなかったかと思う。自分達が職業という場を通して、出来るだけ人間関係を改善して、相手の立場に立って、物を作り、物を売り、Serviceをしよう。相手の立場に立って商行為をしよう。そうすれば、相手方もその誠実さに対して、信頼していただける。その積み重ねが信用に繋がるでしょう。これが｢もっとも多く奉仕する者が最も多く報われる｣となる。最初に戻って、ロータリーとは何か？換言するならば｢相手の立場になって物を考え、相手に役立つような行為を、特に現代の職業生活に適用することである｣もう一つ当クラブの事業報告書の後ろにセントルイス宣言23-34とロータリーの綱領が載っていますが、誠に素晴らしい事であり、このような報告書はあまり見かけません。この報告書を貰ったときは、素晴らしいクラブだと思って来ましたが、予想以上の内容でした。特にセントルイス宣言23-34の第1項が非常に日本人のロータリアンに信望されています。先ほどの言葉を使わせて貰うと、ロータリーは、一つの人生哲学だと言われています。
紀元200年頃の話で、人間行動についてカルネアデスの板という例。古代哲学者のカルネアデスが弟子達に問いかけをしました。大きな客船に多くのお客さんを乗せて航海していましたが、嵐に遭って沈没していまいました。Aという男性が大人1人分の板を見つけ漂っていたところへBという男性が近寄ってきた。そこで板の奪い合いになったところで弟子達に聞きました。①AがBをはね除けて溺死させた。②Bが板を奪ってAを溺死させた。この行為は許されるだろうか？という問いかけ。カルネアデスの出した結論は、AもBもどちらも許される。法哲学上から言うと二者択一の極限状態に成ったときは、自己保存本能から許される事であると説明。①は正当防衛②を緊急避難として現代の法律にある。宗教家はどちらも決して許されないとしている。例えば、A・Bを自分の身近な人物(妻・子供)に置き換えたらどうなりますか？板を差し出すでしょうか？譲り合うでしょうか？続きは後でゆっくりやって下さい。宗教に近づけるような行為にさせるのは何か？これは人間関係です。人間関係の近さです。ポール・ハリスの言った仲間意識を持つために｢知人ではなく、友人になろう｣が良い例でしょう。最後にロータリアン以外の人にロータリー用語を使わないでロータリーを本質的に話すとしたら私は日本の古い諺2つをあげて説得します。｢情けは人の為ならず｣(人には親切にしましょう。そうすれば必ずこの世の中は廻り廻って自分に帰ってくる)これは東洋の人間存在の本質を言っていて、生きとし生けるものすべての関係にあるとしている。もう一つは｢三方良し　売り手良し・買い手良し・世間良し｣(全ての商行為は儲けを前提としているが自分だけ良くてはダメ相手も良くなければならないと同時に世間の人に認めて貰わなければならない)次元の高い言葉だと思います。今日はどうも有難うございます。

■山本会長お礼の言葉

とても解りやすく､ロータリーは宗教ではなく道徳観であるという非常に微妙で難しい部分を易しくお話いただき良く解りました。もし、海の中で板1枚だったら譲り合って沈んでしまうと思います。

■点鐘：山本会長